作成日： 平成 31 年 4 月 1 日

令和　1　年度　工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	ハートラインあゆみ				事業種別	就労継続Ｂ型		
平均工賃の推移	前々年度（平成　29　年度）実績				前年度（平成　30　年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	5,636	6,317	5,981	月額	6,412	7,252	6,831
	時間額	181	188	185	時間額	184	190	187
平均工賃の目標	今年度（令和　1　年度）目標				令和　1　年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	R　2　年	R　3　年	R　4　年
	月額	7,250	7,450	7,350	月額	8,000	9,000	9,500
	時間額	201	207	204	時間額	200	205	210

前々年度と比較した前年度の工賃支給状況				
支払総額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
延べ工賃支払対象者数	（　）増加傾向	（　）横ばい傾向	（○）減少傾向
延べ勤務時間数	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
平均工賃　月額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
平均工賃　時間額	（　）増加傾向	（○）横ばい傾向	（　）減少傾向

前年度の作業種目及び収入実績	作業種目	前年度収入額	割合	傾向
	受託加工	3,076 千円	67 %	増加傾向
	自主製造・販売	千円	%	
	仕入・販売	千円	%	
	飲食	千円	%	
	サービス	千円	%	
	他（清掃業務）	1,510 千円	33 %	増加傾向

前年度に工賃向上に効果を上げた具体的な事項	不況の影響から、受託加工の売上が減少傾向にあったため、前年度は自主生産品の製造と販売に力を入れ、製品の品数拡大・品質の向上・販売先開拓に注力し、その結果受託加工受注金額の減少をカバーできただけでなく、収入及び工賃支払額も増加させることができた。
工賃向上のためにクリアーしなければならない課題事項（複数回答可）	（　）販売品に魅力がない　（　）販売品種が少ない （　）販売先が限られている　（　）立地条件が悪い （○）受注単価が安い　（　）多量の注文が受けられない （　）他事業所とのネットワークがない （○）職員の作業負荷増大　（　）利用者の作業負荷増大 （○）職員のコンセンサス　（○）利用者特性 （　）その他（　）
優先的にクリアーしなければならない課題の具体的な内容と対応策	目標達成のためには、更なる自主製品の生産量アップと拡販が必要となる。 ①職員の意識：利用者支援として工賃アップも不可欠というコンセンサスを ②拡販：訪問販売の強化 ③生産量アップと品質向上：外部講師等から助言を得ながら取組む
今年度計画している改善策（複数回答可）	（○）品質の向上　（　）販路開拓　（　）新商品開発 （　）他事業所とのネットワーク化　（○）内部努力 （○）作業種目の見直し　（○）職員の意識啓発 （　）神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （　）その他（　）
今年度計画している改善策の具体的な内容	①受注企業の開拓していく。 ②受注量を増やしていく。 ③作業効率を向上させ生産量をアップさせる。 ④受注単価の増額 ⑤研修会への参加等で職員の資質の向上していく。